

知って備える 防災メモ

第6回

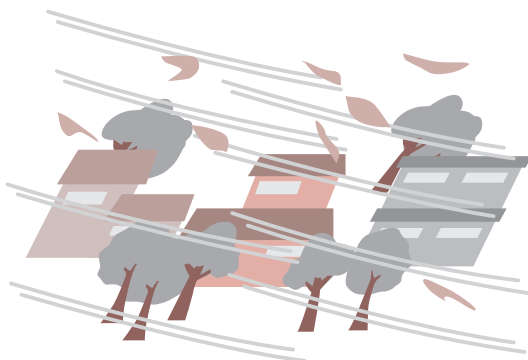
台風について

赤道付近の海上で発生する低気圧を『熱帯低気圧』と呼び、このうち日本の南で発達して最大風速が秒速約17メートル以上になったものを『台風』と呼びます。

台風によって引き起こされる災害には、暴風、大雨、洪水、高潮、高波などがありますが、これらは単独で発生するだけではなく、複合して発生し大きな被害をもたらすことがあります。



平成15年8月には、北海道付近に前線が停滞する中で台風10号が北海道に上陸して、日高地方を中心に記録的な大雨となりました。この影響で崖崩れや河川の氾濫が発生し、6人の方が亡くなるなど、大きな災害となりました。



気象台では、重大な災害が発生する恐れがあるときは、『警報』などの防災気象情報を発表します。特に台風の接近が予想されるときは、増水した河川、崖崩れの危険のある場所、高波が打ち寄せる海岸など、危険な場所には絶対近づかないようにし、風による飛散物や倒木などにも警戒してください。

▼問い合わせ 室蘭地方気象台

(☎) 4249

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別空手道スポーツ少年団藤島道場

『登別空手道スポーツ少年団藤島道場』は、青少年の健全育成を目的に、昭和53年に登別市で初の空手道場として結成されました。

現在は、小学生を中心とした28人の会員で、水曜日と日曜日に登別市青少年会館で練習をしています。

初心者が多くいる一方、ことは3人が全国大会に出場します。組手では防具を付けるなど安全・安心に気を配っています。

「子どもたちには相手を打ち倒すことだけではなく、礼儀や精神の強さを身に付けてもらいたいですね」と話すのは、代表

の藤島義一さん。 「めりはりのある練習を心掛けています」と話す藤島さんの話のとおり、練

習中の表情は真剣そのものですが、子どもたちには優しいまなざしが向けられています。

今年4月に入会した小学4年生の大波彩乃さんは「もともと友達に道場に通っていて、見学に来たら格好よかったので、私も習い始めました。空手は難しいけど面白いです」と、少しはにかみながら答えてくれました。そんな子どもたちの成長を何より楽しみにしている藤島さんは「冬の寒い日にも一生懸命練習し、他の道場の先生にもきちんとあいさつする姿を見ると成長を実感します」とうれしそうに話してくれました。

入会を希望する方は、藤島さん(☎) 090-19521-0294まで。



精神面と技術面、バランス良く高めま



▲厳しくも楽しい練習の様子